

# 幼児の教育 第七十二巻 総目録

◆ 一月	還暦から幼時を憶う 対談 新春対談	千谷 七郎 串田 孫一 周郷 博	相馬 祥子 誠子	肢体不自由児教育にたずさわって 幼児教育の潮流（III）—ペスタロッチ— 私の保育	鍋島 美春 二文字理明	動物と遊んだ一日 子どもと動物（写真） 私の保育		
◆ 二月	子どもの生きがい 精神薄弱児の保育 子どもと民話 幼児教育の潮流（II） ルソーの幼児教育思想（下）宮本 光彦 私の保育 土をこねる	石割 陽子 中村 博 島田ななみ 津守 真	倉橋 惣三選集より 文化の中の教育（一）「教えよう・教えられよう」と「学ぼう」ということ 日本幼稚園協会主催幼児教育講習会特集 その一 外山先生の話の前に	倉橋 惣三選集より 無案保育 原 ひろ子	津守 真 原 ひろ子	「児童権利宣言」とわが国の幼児教育 幼児の観察研究—靴と幼児—津守 真 文化の中の教育（二）「教える人」のいない社会で「自分で覚える」ということ 日本幼稚園協会主催幼児教育講習会特集 その二 講演	◆ 四月	動物と遊んだ一日 子どもと動物（写真） 私の保育
◆ 三月	倉橋 惣三選集より 文化の中の教育（二）「教えよう・教えられよう」と「学ぼう」ということ 日本幼稚園協会主催幼児教育講習会特集 その一 外山先生の話の前に	原 ひろ子	倉橋 惣三選集より 無案保育 大石さんの話の前に	水野 肇 大石 武一 原 ひろ子	水野 肇 周郷 博 周郷 博	◆ 五月	動物と遊んだ一日 子どもと動物（写真） 私の保育	
◆ 四月	講演 幼児時代における言語の形成 外山滋比古 座談会 環境とこころ 私の失敗	周郷 博	講習会を終わって 講習会を終わって	大崎 利恵子 大崎 利恵子	大崎 利恵子 周郷 博 周郷 博	◆ 五月	動物と遊んだ一日 子どもと動物（写真） 私の保育	
◆ 五月	講演 幼児の観察研究—実現しようとする意 志を育てること（1） 津守 真	鯉のぼりとブリキの剣 かこさとし	講演 このごろの子どもと家庭—いろいろ	津守 真	津守 真	◆ 五月	動物と遊んだ一日 子どもと動物（写真） 私の保育	
◆ 五月	倉橋 惣三選集より 養護と教育 講演 言葉のユング的解釈 その四 河合 隼雄 西本 美節	牛島 義友	講演 幼児時代における言語の形成 外山滋比古 座談会 環境とこころ 私の失敗	周郷 博	周郷 博	◆ 五月	動物と遊んだ一日 子どもと動物（写真） 私の保育	
◆ 五月	◆ 五月	◆ 五月	◆ 五月	◆ 五月	◆ 五月	◆ 五月	◆ 五月	



読書のすすめ

南 信子

喜田 史郎

幼児が絵を描いている時 ある四歳女兒  
のなぐり描き

青木 隆

岡 政先生会見記（その二）

小野 京子

川崎 千束

読書のすすめ

青木 隆

岡 幼児教育の源流（Ⅷ） ロバート・オウエ

降矢 震

私の保育

横張 和子

山根 祥雄  
ンの幼児教育思想（その一）

井手 達子

幼児教育の源流（Ⅸ） ロバート・オウエ

読書のすすめ

本田 和子

山根 祥雄  
ンの幼児教育思想（その二）

ほか

幼児教育の源流（Ⅹ） ロバート・オウエ

行事によせて一人間の生活と祭り

利島知可子

◆ 十月

附属病院と附属幼稚園 勝部 真長

詩集—失われた季節を求めて—より

読書のすすめ

喜田 史郎

守屋 光雄

幼保一元化をこえて（一）

講演 現代社会における幼児教育の問題

川崎 千束

周郷 博

倉橋賞受賞論文—幼児の文学指導—

点

森田 宗一

三神 廣子

幼保一元化をこえて（二）

幼児教育から世界観へ

守屋 光雄

菊池 百合

合宿保育

幼児教育における遊び—遊びの問い合わせ

渡辺 靖子

河野としゑ

子どもの生きがい

幼保一元化をこえて（三）

守屋 光雄

上屋みよ子

子どもと保育者—積木遊びの観察記録

幼児の生きがい

河野としゑ

津守 房江

幼保一元化をこえて（四）

幼児の生きがい

守屋みよ子

清水美智子

子どものおひさま

幼保一元化をこえて（五）

津守 房江

石島 裕二

子どものおひさま

幼保一元化をこえて（六）

石島 裕二

聖ボニファチアス幼稚園での一年

子どもの興味と母親の態度

幼保一元化をこえて（七）

西本 美節

真野 輝彦

利島知可子

◆ 十二月

幼児が絵を描いている時 ある四歳女兒  
のなぐり描き

横張 和子

読書のすすめ

本田 和子

山根 祥雄  
ンの幼児教育思想（その三）

ほか

幼児が絵を描いている時 ある四歳女兒  
のなぐり描き

利島知可子